

## 式の値

• 下の図のように、棒で正方形を  $a$  個つくる時、必要な棒の本数は  本である。



正方形を 50 個つくる時に必要な棒の本数は、

式  の  $a$  の代わりに 50 をあてはめて計算すると、 =  本となる。

• 上のように、式の中の文字  $a$  の代わりに数 50 をあてはめることを、 $a$  に 50 を  するといひ、この 50 を文字  $a$  の  という。

また、代入して計算した結果  を、 $a = 50$  のときの  という。

よって、上の棒の例で、正方形を 120 個つくるのに必要な棒の本数は  本となる。

例 1.  $a = -3$  のとき、 $-2a + 5$  の値を求めなさい。

例 2.  $a = -2$  のとき、次の式の値を求めなさい。

(1)  $a^2$  (2)  $-a^2$

(3)  $a^3$  (4)  $-a^3$

例 3.  $x = 4$ 、 $y = -3$  のとき、次の式の値を求めなさい。

(1)  $3x + 2y$  (2)  $x - 5y$  (3)  $\frac{1}{2}x - \frac{1}{3}y$

(4)  $-xy$  (5)  $x^2 + 4y$  (6)  $7x - y^2$